

令和6年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	ウェザーハート災害福祉事務所		
事業名	大規模災害に備えた災害中間支援機能強化事業		
助成事業区分	協働助成事業（一般型） 【重点課題：県民活動の活性化に向けた専門分野での体制づくり】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	1,011,895 円
		うち助成金額	1,000,000 円
事業実施期間	令和6年5月29日 から 令和7年2月28日まで		

事業目的・実施内容	（事業目的） 本県においては複数の断層帯が存在しており、大規模地震の発生により多くの犠牲者が想定されている。当事業では、主に国内で活動している技術系NPO・専門ボランティア団体の協力を得て、大規模災害時には迅速な被災者の生活支援に繋げられるよう、環境整備に取り組むものである。
	（実施内容） 実施内容について (1) 国内における技術系NPOのリスト化 (2) 災害時の協働・連携をテーマとしたフォーラムの開催

事業の成果	1 リスト化による効果 国内の災害時の技術系NPO等（約30団体）のリスト化を行った。県内35の市町村行政及び社会福祉協議会、山形県庁、山形県社会福祉協議会の75団体へリストを提供した。これまでリスト化されていなかったことから、行政及び社会福祉協議会等にて、災害時に技術系NPOとの連携を進めやすくなることが期待される。 2 フォーラムによる効果 技術系NPO及び受け入れ団体（社会福祉協議会）の事例発表（計6団体）、県内の市町村行政及び社会福祉協議会等と技術系NPOとの交流会の実施。交流会では登壇者と参加者間で名刺交換、情報交換を行った。発表者と参加者との交流の機会を設けた事で、災害時に連絡しやすい関係性を作るきっかけになったと思う。
今後の展望	フォーラム参加者の中から「災害現場で何がおきているか理解できた」「災害時の官民連携はとても重要であるため、今後もフォーラムを継続してほしい」といった声が複数寄せられました。定期的にフォーラムを開催するなどし、今後も「災害時の官民連携」が進むよう、寄与したいと考えています。

写真①：技術系NP0によるパネルディスカッションの様子



写真②：長期間にわたって技術系NP0と連携した社会福祉協議会からの活動報告



写真③：登壇者・パネリストと参加者との交流会



団体概要

団体名 ウェザーハート災害福祉事務所

代表者 千川原公彦

URL <https://www.weatherheart.net/>

令和 6 年度山形県N P O活動促進補助事業
収支精算書

事業の名称	大規模災害に備えた災害中間支援機能強化事業
団体名	ウェザーハート災害福祉事務所

1 収入の部 (単位：円)

区分	精算額	内容
県補助金	1,000,000	令和 6 年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入		
その他収入		
自己資金	11,895	
合計	1, 011, 895	

2 支出の部 (単位：円)

区分	精算額	内容
謝金	150,000	・フォーラム講師謝金 30,000円×5名
旅費	203,455	・講師用の旅費合計 116,900円 ・業務従事者の旅費合計 86,555円
印刷製本費		
消耗品・材料購入費	178,440	・トナー、インク、コピー用紙、デジカメ等
通信運搬費		・切手及び宅配料金等は使用せずに対応した。
保険料		
使用料		・無料の会議室を使用する等、対応した。
人件費	480,000	・業務従事者1名分 一ヶ月@60,000×8ヶ月
(委託費)		
(備品購入費)		
(修繕費)		
合計	1, 011, 895	